

2022 年度秋学期募集 SFC アジアマスダ研究プロジェクト支援制度 応募要領  
＜学部生および大学院生対象＞

本制度は、公益財団法人マスダ教育財団からの寄付金によるもので、総合政策学部、環境情報学部および政策・メディア研究科に所属している日本人学生およびアジアの国・地域からの留学生の研究プロジェクトを助成する制度です。本制度は、研究プロジェクトの企画・実施を通して国際的な視野を持ち、アジアの将来の発展に貢献することのできる人材を育成することを目的とし、特にアジアおよび中東において日本の文化・歴史・思想・技術等を広める活動を支援します。希望者は以下の要領に従い応募してください。

## 1. 対象者

次の①または②に該当する者とします。

- ① 当該学期に総合政策学部・環境情報学部の2年生以上あるいは政策・メディア研究科に所属しており、アジアの国・地域（日本は除く）ので継続的なフィールドワークを計画している学生。

＜資格要件＞

日本国籍を持つ学生および以下の在留資格を持つ外国籍の学生

- ・永住者 ・特別永住者 ・日本人の配偶者および子
- ・永住者の配偶者および子 ・定住者

- ② 日本をテーマに、原則として日本国内でフィールドワークを計画しているアジアの国・地域からの留学生。

＜資格要件＞

外国籍保持者で、かつ「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、日本の大学および大学院に所属する学生

※ ①②ともにグループでの応募も可とします。

※ グループで応募する場合、①②どちらに該当するかは、リーダーとなる学生の資格要件によるものとします。

※ ①で研究を実施する場合、海外に滞在する期間については大学が指定する「危機管理支援サービス」および大学が定めた基準を満たす海外旅行総合保険に加入しなければなりません。

※ 本制度より給付を受けている期間中の重複申請はできません

※ 原則として、対象期間中に休学はできません。やむを得ず休学する場合は、早めに事務室へ申し出てください。なお、休学が確定したら、その学期分の奨励金は返金となります。

## 2. 対象となる研究テーマ

- ・ 国際的な視野を持ち、アジアの将来の発展への貢献につながるフィールドワークであること。特に、アジアにおいて日本の文化、歴史、思想、技術などを広めることを目的としている活動を重点的に支援します。
- ・ 「3. 給付対象期間」で指定している研究期間中、可能な限り現地に赴き、継続的な活動を行うことが求められます。

## 3. 給付対象期間

2022 年 9 月 22 日（木）～ 2023 年 7 月 28 日（金）

#### 4. 支援額

1件あたりの120万円を上限とします。

採択予定数は4件程度です。応募は1プロジェクトにつき1件のみです。

#### 5. 応募方法

SFC 学生向け研究助成システム上から行ってください。

締切後の提出・差し替え等は一切認められませんので、ご注意ください。また、事前に必ず指導教員に相談をし、内容について許可を得たうえで提出するようにしてください。

**応募期間：2022年11月28日（月）10:00～2022年12月9日（金）13:00 厳守**

※ 学生向け研究助成システム：<https://srg.sfc.keio.ac.jp/user>

塾生サイト（湘南藤沢キャンパス）→「その他」→「研究助成・研究活動支援」

→「学生向け研究助成システム」→「SFC アジアマスタ研究プロジェクト支援制度」

※ keio.jp のアカウントによる認証が必要です。

#### 6. 審査

計画書に基づく書類審査を、SFC アジアマスタ研究プロジェクト支援運営委員会が行います。

審査結果は、学生向け研究助成システム上で応募者宛に**2023年1月下旬まで**に通知します。

なお、審査は以下の基準に則って行われます。

- (1) 研究テーマが適切に設定されていること
- (2) 研究を進めるにあたって、フィールドワークという手法が妥当であること
- (3) 期間内に一定の成果を報告できること
- (4) 予算計画が明細かつ的確であること

#### 7. 研究成果報告および経費支出について

本制度を利用する学生は、プロジェクト成果物および経理報告書の提出とともに、運営委員会が定める報告会において、活動報告を行うことが義務づけられます。またプロジェクト成果物・経理報告書類の提出期限および報告会実施日程は次のとおりです。

##### ◆プロジェクト成果物提出締切

**2023年7月28日（金）16:50 厳守**

##### ◆経理報告書類提出締切

2023年3月以前使用分：**2023年3月13日（月）16:50 厳守**

2023年4月以降使用分：**2020年7月28日（金）16:50 厳守**

※ 会計処理の都合上、採択決定後に3月以前・4月以降の資金使用計画を提出していただき、それに基づき助成金を分割して支給します。そのため経理報告も2回必要になります。支給された助成金は使い切るようにしてください。

※ 使途報告書および領収書の原本（コピー不可）を事務室へ直接提出してください。

## ◆報告会

形式および時期などの詳細は、採択者に個別に連絡します。

## 8. 応募書類記入要領

応募書類は3種類とも入力し、最後に必ず「提出」ボタンをクリックしてください。

### <応募書類①：研究計画書>

#### (1) 研究課題名

25文字以内で簡潔に記入してください。

#### (2) 研究概要

一般的、抽象的な表現は避けて、研究の内容を具体的かつ簡潔に記入してください。

#### (3) SFC アジアマスタ研究プロジェクト支援制度への応募理由

前述の選考基準に照らして、自身の研究にどのような意義があるのかを踏まえ、わかりやすく記載してください。なお、本奨励金では研究会横断的テーマを推奨しています。

#### (4) 研究組織

グループで取り組むプロジェクトを申請する場合、研究代表者、研究分担者、研究分担課題を明確にし、自身の分担課題が分かるようにしてください。

#### (5) 研究経費の明細

本要領とともに塾生サイトに掲載している「アジアマスタプロジェクト支援制度諸経費取扱要領」を参考に、研究計画に基づいて本年度分の経費について使用内訳別にそれぞれ記入してください。

旅費・近郊交通費については、SFCの教育・研究活動を維持するための基本方針等に基づき、支出が認められないケースがあります。旅費・近郊交通費の支出がキャンセルとなった場合の研究代替手段について、必ず「研究計画」内に記載してください。

(a) 旅費は、調査・研究、研究打ち合わせなどの国内および国外出張をする場合に要する経費とし、その算出は義塾の規程に準拠します。

(b) 実験用品、研究用器具、文具類等は、1点または1組の価格が10万円（税込価格）未満のものを消耗品、10万円（税込価格）以上20万円（税込価格）未満のものを用品とします。ソフトウェアは20万円以上でも消耗品となる場合があります。

(c) 謝金の支出対象となる労務は、「調査、アンケートの配布・回収および協力」のみ認めます。なお、謝金の単価については、義塾の規程に準拠してください。

(d) その他については、会合に伴う経費（学生の飲食に関する経費は支出できません）、交通費（近郊の交通費）、通信運搬費、印刷費、等とします。

#### ※ その他支出できない経費

- ・建物等施設に関わる工事費
- ・雇用関係が生じるような月極めの給与等
- ・公私の区別の付きにくい、携帯電話、PHS等の購入・使用料
- ・レンタカー代、ガソリン代
- ・複数年度に渡る保証期間、サポート期間の商品（ウィルス対策ソフト3年版等）
- ・研究とは関係ない活動を実施する期間のOSSMAおよび海外旅行総合保険費用
- ・学費、授業料等
- ・学会年会費

・その他このプロジェクト費による研究に直接関係のない経費（例えば、酒類等）

(6) 採択済・申請予定の助成金

今年度、すでに採択済の助成金や新たに申請予定の助成金がある場合は、申請するプロジェクトの内容やメンバーが同一かどうかにかかわらず、すべての助成金名・申請題目・採択時期・採択期間を申告してください。申請の虚偽が発覚した場合、採択を取り消す可能性があります。

なお、同一内容と判断される研究計画による複数の研究助成金への重複応募は不可とします。

<応募書類②：研究計画>

2 ページ以内で作成のうえ、PDF 形式でアップロードしてください（書式自由）。作成にあたっては、以下の点に留意してください。

- ※ 計画しているフィールドワークについて、現時点で決定しているスケジュールなどを可能な限り詳細に記載してください。
- ※ 過去に本制度の支援を受けた申請者またはプロジェクトが再度応募する場合は、前回の研究との差分を「研究計画」内で明確にしてください。

【問い合わせ先】

湘南藤沢事務室 学事担当 CDP オフィス (A 館 1 階)

Tel: 0466-49-3409

email: [cdp@sfc.keio.ac.jp](mailto:cdp@sfc.keio.ac.jp)